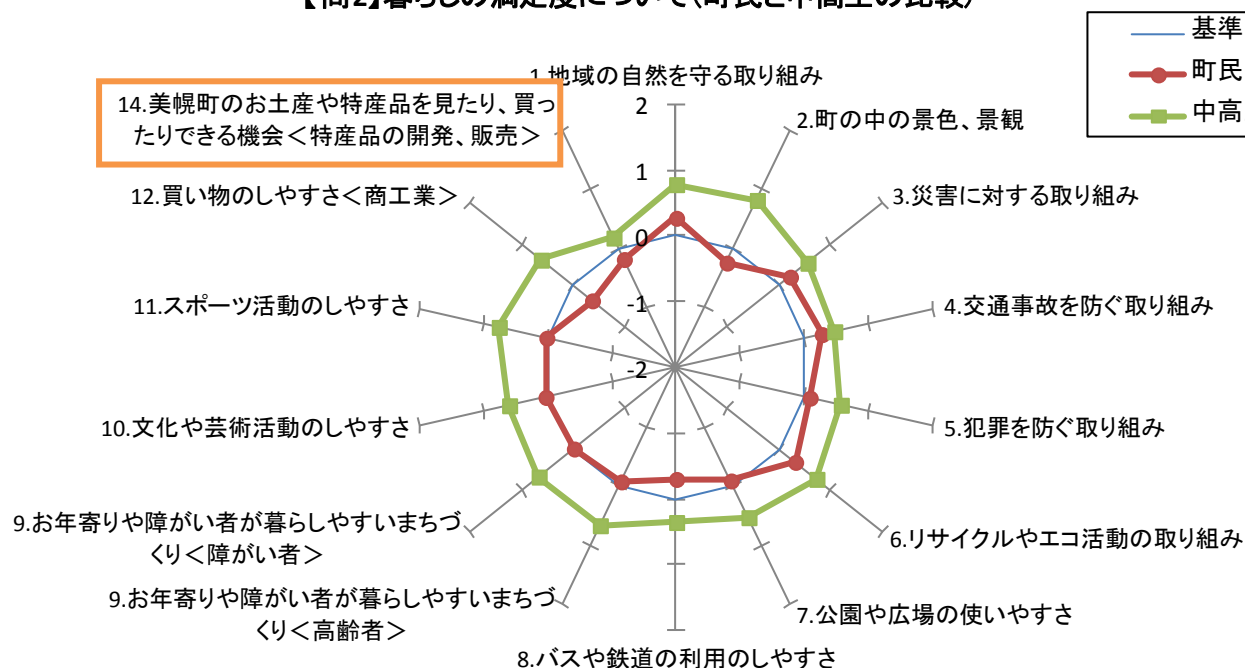


53 食育

(1) 関連グラフなど

【問2】暮らしの満足度について(町民と中高生の比較)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
子育てに関する相談・指導の充実 (「子育て支援」と重複)	食育※に関する情報提供や親子料理教室の開催	栄養士による年2回、「離乳食」講座を開催している。他に26年度は調理講座を開催予定。	講師、開催場所、予算及び託児の関係で講座を増やすことができない。	栄養士の協力により、親子の食育の大切さを伝えていく。
小中学校の教育内容の充実 (「学校教育」と重複)	栄養教諭の配置による食育の推進	正しい食生活指導や食育に関する授業は行っているが、栄養教諭の配置には至っていない。	配置基準、給食センターの運営などから、職種替えが難しい状況。	栄養士の配置換えを含め、道教委と調整を図る。

※食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を、家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。

※特別支援教育：これまでの特殊教育の対象としてきた盲者、聾者、知的障がい者、肢体不自由者、及び病弱者等の児童生徒に加えて、通常の学級に在籍するLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）、高機能自閉症等の児童生徒も含め、個々のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う教育。